

## 令和2年度第2回社会教育委員会議 会議摘録

開催日時：令和2年10月2日（金）午後1時30分～午後3時00分

開催場所：精華町役場図書館1階集会室

出席委員

- ・高鍋房美委員長・田中智美委員・上村卓三委員・網野俊賢委員・北尾直美委員
- ・堀口紀代美委員・播磨富士子委員・米澤正展委員

出席事務局職員

教育長：川村 智、教育部長：浦本佳行、生涯学習課長：石崎勝巳

図書館長：波尻寛之、生涯学習課長補佐：島川宗久

傍聴者：無し

内容

講演と意見交換

「人生100年時代 生涯学習者を目指す」

精華町社会教育委員 網野俊賢 氏

報告

- (1) 令和2年度社会教育委員会関係の年間行事予定について
- (2) 教育委員会所管施設指定管理者評価委員会評価結果について
- (3) その他
  - ・成人式について
  - ・図書館年報について

## 会議内容

### 1. 開会

#### 高鍋委員長あいさつ

新型コロナウイルス感染の収束の目途が立たないが、この間、多くのことを経験し学んでいる。夏の甲子園中止に関し、球児たちに対し、かつて甲子園を賑わした松坂投手の『大人は、選手の心に寄り添いアイデアを実行する、できることを考える。』という言葉に勇気づけられる。今できることに一生懸命に取り組み、その達成感を味わった方もおられる。

コロナ禍において山中教授が、『一番大事なことはやさしさである』とコメントされていた。改めて社会教育の大切さを実感できる言葉であると感じた。

網野委員のお話を聴いて、多くの方といろいろなことを共有できればと思う。

### 川村教育長あいさつ

ようやく2回目の社会教育委員会を開催することができた。ウィズコロナという状況の下、できる限りの取組を行っていこうと心がけているが、秋以降も生涯学習に関わるいくつかの行事が中止となった。成人式はなんとか対策をして行っていきたいと考えている。

その成人式をめぐり、民法改正により令和4年から成年年齢が18歳となる。そのとき成人式をどうするか方針を示す時期に来ている。教育委員会でも議論したが、本日皆様のご意見を頂戴できればと思う。

網野委員のご講演を聴いて今後の社会教育発展のための知恵を蓄えていただきたい。

## 2. 講演「人生100年時代 生涯学習者を目指す」

講師 精華町社会教育委員 網野俊賢 氏

### 講義概要

私は企業で勤め定年後もアメリカで仕事などをして通算40年ぐらい滞在していました。今から8、9年前に、世界中の学生を乗せて船で世界を1周しながら勉強するというアメリカの洋上大学に講師として参加して、そこでLifetime Learnerと交流する機会を通して、生涯かけて勉強するということが一つのライフスタイルであるという認識を持ちました。人生100年時代における生涯学習時間は、学校教育終了後の人生において非常に長い時間ですので、生涯学習の必要性を考えるのは大事なことです。

人生100年時代では、より多くの変化に遭遇するということになりましたが、ダーウィンの言葉に、『最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が生き残るわけでもない。唯一生き残ることができるのは変化できる者である』というのがあり、変化に備えて賢く生きる、楽しく生きるという心構えが大事だと思っております。健康のこと、経済格差など経済的なこと、地域住民のつながりの軽薄化、限界集落、消滅集落というような地域のこと、災害、地球温暖化など多くの変化、異質な変化に備えるためにそれを予知することが非常に大事で、自身が予知するために学習すること、ほかの人はどんなことを考えてどういうふうに変化に備えようとしているのかということも知ること、学習したことを変化に応用することで経験を積んでいくこと、これが変化に備える力を持つことになります。生涯学習は、学んだことを実

際の行動でもって経験していくことがより必要になってくると、社会教育委員をさせていただき非常に実感しているところです。机上で学習することも大事ですが、知識や技術をいろんな経験者から学んだり、活用する技術を習得したり、人と共同して何かを創造するということが大事であり、さらには自分が貢献できる喜びを感じるというふうな、こういう回転が生ずることによって、生涯学習の本当の意味が生じてくるのではないかと感じています。

また、経験する機会をつくることも大事であり、幾つになっても学ぶことはたくさんあり、学びと同時に人のつながりが増え、自分が貢献する機会も見つかります。それが人の幸せにつながり、自身の生きがいになります。

生涯学習を地域社会で推進する意義を考えますと、生涯学習することによって賢明に変化に応じて生きていけるという力を持つこと、健康に留意するとか経済的な自立、環境への関わり、地域への貢献、老後への諸々の備えであるというようなことがもしできたとすれば、自助、共助ということが生まれてくる。こういう人が地域で多くできるということは、これからの地域社会にとって大事なことで、そういう意味で生涯学習者を育てるということは、社会教育委員の役割として重要であると感じています。

社会教育委員は、いろいろな領域でプレーヤーとして活躍することも重要だと思いますが、同時に生涯学習が地域において推進されるようなプロデューサーという役割もあると感じてまして、生涯学習者が地域で活躍するような、貢献するような舞台を用意する、資金とかいろんな舞台を回すのと同じようなことが必要になってくるのかなと思います。地域にいる知識と経験を持つ住民、体育館など施設、町の予算とか産業、行政や市民活動団体とか生涯学習者が持つ知恵などの情報、これら地域資源と考えられるものをうまく活用することによって、地域社会で生涯学習を推進していく。必ずしも地域資源が全部認識されているわけではないので、人材を掘り出すことなどもして、生涯学習者をうまく活用して地域がよくなることにつなげていくということも重要な役割であると考えます。ご清聴ありがとうございました。

### 3. 報告

#### (1) 令和2年度社会教育委員関係の年間行事予定について

京都府主催等の年間諸行事予定について、新型コロナウイルス感染症の影響で中止、延期等になったものについて報告した。

## (2) 教育委員会所管施設指定管理者評価委員会評価結果について

評価委員会から教育委員会に提出された評価結果について報告した。

## (3) その他

### ・成人式について

民法改正により令和4年から成年年齢が18歳に引き下げとなるが、本町における「成人式」の対象年齢については、大学受験、就職準備等18歳という时期的な状況、近隣他団体の方針決定、世論調査結果等総合的に判断し、引き続き20歳で検討していることについて、各委員の異論はなかった。

### ・図書館年報（令和元年度）について

図書館年報を配布し、館長から内容の概要説明を行った。

## 4. その他

次回会議日時について、日程調整を行った。

## 5. 閉会